

大東文化歴史資料館だより

第13号 2012. 12. 10

大東文化大学の教員養成

大東文化大学 学長 太田 政男

去る12月8日、文学部教育学科の開設40周年記念行事が開かれた。板橋校舎多目的ホールでの記念式典、シンポジウムにつづき、食堂に会場を移しての祝賀パーティが行われた。

教育学科は1972年、専門教育としての教育学の知識や教養の教育と初等教員養成を併せ行う学科として開設され、今日まで約5000人の卒業生を送り出してきた。そのうち小学校など初等教員には、実数を把握する手だてはないが推定で少なくとも2000人は越えるであろう。社会教育主事、図書館司書、学芸員などの社会教育も職員を含めるとさらに数は増えよう。日本の教育界に対する貢献度は高い。教育現場で中核的な存在として活躍しており、第1期生には50代半ばを越し、そろそろ定年を迎えようかという卒業生もいる。



当日は、卒業生が約100人。現役学生、現在の学科教員はもとより退職、転職された先生方も含めて200人の参加で盛会となった。シンポジウムには卒業生で現場で教育職員として頑張っている卒業生3人（教員2人、公民館職員1人）が登壇し、自身の大学生活と現場に就いてからの教育実践の歩みを振り返り、直面する日本の教育課題について語った。いずれももとより本人のキャリアの中での実践と研究の成果だが、教育学科での学習が土台となっていることを聴衆に確信させた。

大東文化大学は、来年90周年を迎えるが、創設以来中等教育の国語・漢文の教員を中心に多くの書道、外国語科、社会科、商業科の教員を送り出してきた。書道教員は、現在もなお全国の書道教員の4分の1を占めると推定されている。最近は、スポーツ科学科から保健体育の教員も出始めている。高校教育現場で本学出身の先生方にお会いすることも多い。教員養成は大東文化大学の伝統、特色の一つであり、今あらためてその強化を大学の重点課題としてとり組んでいかなければならない。

そういう視点からの大学の歴史の掘り起こしもすすめられなければならないと思う。先年故人とられた青木一先生も本学出身の先達である。1932年に本学を卒業し（中国の俗歌「風誦」を専攻）、戦後35才の若さで校長となり、「大校長」として「東の斉藤喜博、西の青木一」と称せられ、多くの著作のほかに『教育実践事典』も編集された（1982年）。遺作となった『一日一信・戦地から妻への1600通の手紙』（全4巻、大空社 1997）は大学の歴史の一端でもあろう。

大東アーカイブス 第13回 企画展

—卒業アルバムに見る学生生活—

展示期間：平成24年10月30日(火)～平成25年3月29日(金)

(開室時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00)

展示場所：大東文化歴史資料館 展示室(板橋校舎2号館1階)

大東文化歴史資料館展示室では、現在、第13回企画展「卒業アルバムに見る学生生活」を開催しています。

学生自治会によって刊行されている卒業アルバムは、学生たちの歴史をそのままに語る貴重な資料です。校舎建物の変遷など時代の移りかわりが具体的に見られる一方で、部活動やサークルで活発に活動する姿、ゼミや授業、図書館で熱心に勉強し討論する姿など、いつの時代も変わらない生き生きとした学生らしい風景がそこかしこに見られます。また卒業アルバムの中にも箱根駅伝をはじめとした体育競技での活躍が多く目につきのも大東らしい特徴かもしれません。

ただ、卒業アルバムがいつから刊行されたのか、はっきりとしたことはわかっていません。各年度に学生たちが自主的に製作してきたものであったため、体系的な記録が残されてきませんでした。

これまでアーカイブスに寄贈されたものからは、戦前の大東文化学院時代にも卒業アルバムが製作されていたことがわかっています。創設直後のごく初期の頃は卒業写真撮影のみの時期が続きましたが、昭和10年代前半から半ばにかけては卒業アルバムを作成した年があったようです。戦中戦後の苦しい時代を経て、新制大学になってからは再び卒業アルバムの制作が行われたと思われませんが、昭和20年代から30年代初期のものは学内に残されておらず、昭和34年度卒のアルバムが学内で確認できる最古のものになります。その後も昭和40年代までのものは、学内にほとんど残されていません。

そのような事情から、現在、大東アーカイブスでは卒業アルバムの寄贈をお願いしております。特に昭和27年度卒～昭和49年度卒までの現物がほとんどないため、ご寄贈いただけますと大変ありがたい状況です。

今回の企画展では、希少な戦前の大東文化学院卒業アルバムの公開をはじめとして、卒業アルバムの中に見られる各時代の「学生生活」を垣間見ていただけます。多くの方にご高覧いただければ幸いです。



(歴史資料館運営委員 浅沼薫奈)

『百年史』編纂事業へ向けての研究活動

大東文化歴史資料館では、2013年9月20日に迎える本学創立90周年の対応として、現在、90周年記念ブックレット『大東文化大学の歩んできた道』（仮題）の制作に取り組んでいます。これを終わると、いよいよ百年史編纂に向けた資料の収集、調査、研究を本格的に進めていくことになります。

このうち、研究活動の領域について見ていくとき、本歴史資料館運営委員会においては、かねてより、百年史編纂の本学にとっての固有の意義として、本学創設時の指導者たちが日本近代史の中で演じた役割を（批判的）に解明することを通して、建学の精神を再確認することが社会に対する責務であると提起してまいりました。そのためにも、「創設時の指導者研究」や「建学の精神研究」を推進するための共同研究が必要不可欠なものとなっております。

本歴史資料館では、100周年の年史編纂に向けた体制強化の一環として、研究員の委嘱に関する規定を整備する「大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）規程」の改正を行い、本年4月1日をもって施行されました。共同研究には、専任研究員に加えて、学内外の研究者の協力を仰がねばなりません。そのために、学内に本務をもつ兼担研究員と、学外の研究者である兼任研究員の委嘱手続きを行う場合の規程が具体的に整備されました。

そこで、本歴史資料館は、百年史編纂業務へ向けての研究計画を早急に確立し、兼担・兼任研究員を募って共同研究班を起動させ、併せて、百年史編纂をスムーズに実行していくために、『大東文化大学百年史紀要』の刊行を目指すことになりました。

学内外で、それぞれ本務をもって活躍されている先生方には、大変な労務をお掛けすることになりますが、その専門性をご提供いただくことを念願し、ここに共同研究への参加を仰ぐ次第であります。

（東洋研究所教授・歴史資料館運営委員 兵頭 徹）

* 所蔵資料紹介 *

北海道のプロバスケットチーム「Rera Kamuy Hokkaido（レラカムイ北海道）」（現在は「Levanga Hokkaido（レバンガ北海道）」として活動中）の公式ジャージ。

大東文化大学は、2007-08シーズンよりJBLに所属し活動を開始した「レラカムイ北海道」のスポンサーをつとめ、大東出身の選手が入団していることもあって応援してきました。公式ジャージには大きく「大東文化大学」とスポンサー名が入っています。残念ながらレラカムイ北海道は2010-11シーズンをもって活動休止となり、2011-12シーズンより「レバンガ北海道」と名称を変えて生まれ変わったため不要となったジャージを、中村年春スポーツ振興センター所長（社会経済学科教授、右下写真）を通じて受贈しました。

白色の公式ジャージ上下を寄贈くださった折茂武彦氏はレバンガ北海道の創設者で選手兼オーナー、紺色のジャージを寄贈くださった阿部友和氏は大東出身でレバンガ北海道所属選手として現在も活躍しています。



＜資料寄贈ご協力のお願＞

大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）では、学園に関わる資料を広く収集しています。教科書・講義ノートのほか、写真・映像、機関紙・新聞など、ご提供いただけるものや情報がありましたら、お気軽にご連絡ください。
現在、特に卒業アルバムを探しています。昭和30年代40年代のものがありましたらご連絡いただけますと幸いです。

【大東アーカイブス活動記録】（2012年4月～2012年9月）

- | | |
|---|---|
| 4. 2 大島芳子氏（元本学職員）より資料受贈 | 6. 14 中村年春氏（社会経済学科教授）より資料受贈 |
| 4. 7 現代の大学① | 6. 16 現代の大学⑨ |
| 4. 21 現代の大学② | 6. 21 輛の浦歴史民族資料館より近藤空について問合せ、対応 |
| 4. 23 第12回企画展「大東文化学院創設者たちとその書」展公開 | 6. 23 現代の大学⑩ |
| 4. 26 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会（於：明治大学） | 6. 25 板橋図書課より「50周年記念図書館写真」等資料移管
石崎幹夫氏（本学職員）より資料受贈 |
| 4. 28 現代の大学③ | 政池芳博氏（元本学職員）より資料受贈 |
| 5. 7 小学館より平沼騏一郎関係資料（写真）提供依頼、対応 | 6. 30 現代の大学⑪ |
| 5. 12 現代の大学④ | 7. 7 現代の大学⑫ |
| 5. 14 卒業生よりサークル活動について問合せ、対応
法科大学院より「入試案内」等資料移管 | 7. 14 現代の大学⑬ |
| 5. 19 現代の大学⑤ | 7. 18 東海大学講演会打合せ（於：立教大学） |
| 5. 26 現代の大学⑥ | 7. 19 全国大学史資料協議会幹事会・研究会参加
（於：東京理科大学） |
| 5. 28 久保田六生氏（卒業生）より資料受贈
北海道プロバスケットチーム（Rera kamuy）「トレーニン
グウェア」等資料受贈
板橋図書課より「東京文政大学図書目録」資料移管 | 7. 21 現代の大学⑭ |
| 5. 31 全国大学史資料協議会東日本部会総会参加
（於：日本女子大学） | 7. 31 金山弘通氏（本学職員）より資料受贈
福井市三澤豊子氏（卒業生・三澤三男氏夫人）聞き取り調
査、資料受贈 |
| 6. 2 現代の大学⑦ | 8. 3 金山弘通氏（本学職員）より資料受贈 |
| 6. 4 ニュースレター「大東文化歴史資料館だより」vol.12（5
月31日号）配布発送 | 8. 9 近畿大学聞き取り調査のため来館、対応 |
| 6. 9 現代の大学⑧ | 8. 17 清水敬直氏より資料受贈 |
| 6. 11 高津勉氏（本科卒業生）より資料受贈
総務課より「80周年記念品（写真たて）」資料移管 | 8. 29 坂田好次氏（本学職員）より資料受贈 |
| 6. 12 岡田脩氏（元中国学科教授）より資料受贈 | 9. 18 90周年記念事業等打合せ |
| | 9. 27 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会
（於：武蔵野美術大学） |